

## 心燃ゆる若者が集う「学びの源流」とならん

兵庫県立八鹿高等学校WEBページをご覧ください、誠にありがとうございます。

本校は1897（明治30）年、兵庫県簡易蚕業学校として開校して以来、連綿126年の長い歴史を刻んでまいりました。富田碎花作詞の校歌に「みなかみ遠き谷々の 水を集めて合ふところ むすぶにまかす知の泉 けふぞ挙る」とある通り、清らかな水がふるさと但馬の山々から湧き出でてここ八鹿の地に集まり、誇らしき「知の泉」となって世界へ流れ出すがごとく、但馬における後期中等教育の中心的存在として発展を遂げ、今日を迎えています。ひとえに地域の皆様、卒業生の皆様をはじめとする関係各位の力強いご支援の賜物であり、保護者、学校関係者のご理解ご協力あつてのことと心よりお礼申し上げます。

さて、但馬地域において加速化する人口減少は、小学校の統合、中学校及び高等学校の学級数や生徒数の減少という形で顕在化し、教育の「場」の規模縮小が進んでいます。このように、いわば「横」「水平」方向の規模縮小が進む現状であるからこそ、小中高、さらには高校卒業後の進路先へとつながる「縦」「垂直」方向の連携・協働を強化し、生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばす教育を実践したいと考えています。

県立高等学校教育改革第三次実施計画に基づき、本校では令和6年度入学生から普通科自然科学コースの募集を停止し、新たに学際領域の新学科である「文理探究科」を設置します。「文理探究科」「普通科」を併設する新時代の八鹿高校として、個に応じた最適な学びを実現し、未来を切り拓く力を育成するための探究活動、協働的な学びの充実に取り組んでまいります。引き続きご支援賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月1日

校長 山本 宏治